

授業概要

科目名	運動学				授業の種類	講義	講師名		
授業回数	38回	時間数	75時間	(4単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
運動学は身体運動を考究する学問であり、理学療法では障害を持った方の動作の異常を評価、治療していく。そんなめ運動学では人の動きと、その仕組みを理論的に説明する能力を身につけてもらう。本講義では、関節の構造と運動特性および関節運動について学習する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義と配布資料をもとに骨標本等を触り構造・動きを確認しながら講義を行う。事前に生理学、解剖学を復習しておくことが必須となる。わからないことがあったらそのままにせず、まず自分で調べ、それでもわからない場合、担当教員に質問をすること。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
筋骨格系の構造及び機能と関節運動との関係を説明できる。									
関節運動のメカニズムを力学的に説明できる。									
回数	講義内容								
1	運動学概論・物理学（運動力学）								
2	〃								
3	〃								
4	〃								
5	解剖生理学・運動学基礎								
6	〃								
7	関節構造・関節分類								
8	関節運動のメカニズムについて								
9	肩甲帯・肩関節								
10	〃								
11	〃								
12	〃								
13	肘関節・前腕								
14	〃								
15	〃								
16	〃								
17	手関節・手指								
18	〃								
19	〃								
20	〃								
21	股関節								
22	〃								
23	〃								
24	〃								
25	膝関節								
26	〃								
27	〃								
28	〃								
29	足関節・足部								
30	〃								
31	〃								
32	〃								
33	顔面、脊柱、胸郭								
34	〃								
35	〃								
36	〃								
37	まとめ								
38	〃								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
基礎運動学第6班補訂、授業時に必要なプリント資料を配布する。									
基礎運動学 第7版									
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験にて評価する									